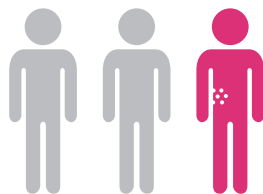


50歳を過ぎたら 帯状疱疹の予防接種ができます。

1 帯状疱疹について

日本人成人の90%以上は、帯状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜伏しており¹⁾、加齢などによる免疫力の低下が原因で、80歳までに約3人に1人が発症し、痛みや発疹があらわれます²⁾。



80歳までに
約3人に1人が発症

1) 国立感染症研究所: 病原微生物検出情報 (IASR). 「水痘抗体保有状況」

[<https://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/9666-varicella-yosoku-serum2019.html>, 2022年2月25日確認]

2) Shiraki K. et al.: Open Forum Infect Dis. 4(1), ofx007, 2017

2 帯状疱疹の合併症について

50歳以上で帯状疱疹を発症した人のうち、約2割は3か月以上痛みが続く帯状疱疹後神経痛 (PHN) になるといわれています³⁾。

また、帯状疱疹は頭部から顔面に症状がでることもあり、目や耳の神経が障害されると、めまいや耳鳴りといった合併症がみられることがあります。

3) Takao Y. et al.: J Epidemiol. 25(10), 617-625, 2015



3 帯状疱疹にならないために

日頃から体調管理を心がけ、免疫力が低下しないようにすることが大切です。
50歳以上の方は、予防接種ができます。



帯状疱疹の
予防接種については、
医師にご相談ください。

※ 予防接種は帯状疱疹を
完全に防ぐものではありません。

帯状疱疹について詳しくはこちらへ
「[帯状疱疹予防.jp](https://taijouhoushin-yobou.jp)」



URL : <https://taijouhoushin-yobou.jp>